# 進捗報告書（実行団体）

● 提　出　日　：　令和４年１０月１３日
● 事　業　名　：　罪を犯した青少年の社会的居場所全国連携拡充事業
● 資金分配団体　：　日本更生保護協会
● 実 行 団 体　：　全国再非行防止ネットワーク協議会

実績値

【資金支援】

| アウトプット | 指標 | 目標値 | 達成時期 | 現在の指標の達成状況 | 進捗状況＊ |
|---|---|---|---|---|---|
| １．行き場がない罪を犯した青少年からネットワークを活用した帰住先の相談を受ける状態になる | ①支援の相談を受けた社会的居場所がない罪を犯した青少年の人数 | 2020 年度　6 人<br>2021 年度　11 人<br>2022 年度　20 人 | 2023 年 1 月 | １９人<br>・社会復帰した人　　9 人<br>・矯正施設入所　　4 人<br>・相談等での支援　　6 人<br>少年の保護者 4 人ほか | 2 |
| ２．全国の「自立準備ホーム」（行き場がない罪を犯した青少年を受け入れている団体）を繋ぐネットワークが構築される。 | ①地域ごとの小規模勉強会の実施回数、参加者数 | ①　年間 3 回　計 9 回・勉強会参加団体 50 団体 | ①2023 年 1 月<br>①　各年度ごと | ①　勉強会<br>2 年度　1 回　12 団体<br>3 年度　4 回　59 団体<br>4 年度　8 回予定<br>東北　9 団体<br>四国　6 団体<br>九州　12 団体 | 1 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | ②自立準備ホームのネットワークの設立 | ②(状態)2020 年度　ネットワーク設立準備（アンケート、シンポジウム、勉強会等）<br>（状態）2021 年度　ネットワークを設立する<br>（状態）2022 年度　ネットワークの周知・拡充 | | ②　全国組織設立<br>令和 2 年度　準備会設置<br>令和 3 年度　設立総会<br>令和 4 年度　一般社団法人取得，運営，事業推進 | |
| ３．行き場のない罪を犯した青少年の自立に関することや、「自立準備ホーム」が抱える様々な課題や運営状況等について、法務省と定期的に意見交換ができる状態になる。 | ①官民意見交換会開催数<br><br>②官民意見交換会前の事前や結果を踏まえた協議の回数及び内容等 | ①9 回<br><br>②9 回 | 2023 年 1 月 | ①　官民意見交換会<br>令和 2 年度　３回<br>令和 3 年度　3 回<br>令和 4 年度　３回<br>②　法務省との調整<br>・令和 2 年度－設立に向け準備会を立ち上げ，アンケート調査結果報告，課題の抽出，定款等組織体制の企画立案等調整<br>・令和 3 年度－HP の作成，自立準備ホームの委託費関係要請，設立シンポジウムの調整，後援，基調講演者等との調整等行い，3 月 21 日に設立総会，記念シンポジウムを開催<br>・令和 4 年度－一般社団法人として運営開始，自立準備ホーム普及冊子作成に関し調整，ブロックごとの勉強会開催への支援要請など調整 | 2 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 4 「自立準備ホーム」や「日本自立準備ホーム協議会」について、社会に対する広報・周知が進む状態になる。 | ① 大規模勉強会・シンポジウム実施回数・参加者数<br><br>②日本自立準備ホーム協議会のホームページが開設されている<br>③全国の自立準備ホームに、全国組織についての周知に関する働き掛けを行う | ① 年間1回3回、参加者150名<br><br>② 開設されている<br><br>③ | 2023 年1月 | ① シンポジウム<br>令和2年度－1回(愛知)<br>参加者<br>令和3年度－1回(東京)<br>参加者<br>令和4年度－1回(広島)<br>参加者　　２００人予定<br>② ホームページ<br>令和3年開設<br>アクセス数4463件(9月)<br>相談件数10件<br>③ 周知<br>・会員団体に定款等関係資料を送付し周知<br>・HPで情報発信<br>・8ブロックで研修会を開催し，周知拡大<br>・会員白地県に幹部が出向き普及，会員増加<br>・マスコミ等への出演<br>テレビ，新聞，ネット上で幹部が出演し周知<br>・自治体の会議での講演 | 2 |

＊進捗状況：1計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3計画より遅れている、4その他

② 事業進捗に関する報告

| 1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み |
| --- |
| 2.概ね達成の見込み |
| 2.アウトカムの状況 |
| A：変更項目<br>☐変更なし　☐短期アウトカムの内容　☑短期アウトカムの表現　☑短期アウトカムの指標　☑アウトカムの目標値 |
| 3.（任意）活動に関する報告 |
| ① 県域を越えての居場所の確保については，今まで19件対応し，現在，矯正施設入所者は４人，社会復帰したものは６人であり，９人は帰住地や保護者からの相談等で支援している。９月には，日本自立準備ホーム協議会（日準協）HPに生活困窮者から相談メールが入り，同協議会幹部が相談に乗り，自治体の福祉につなげ生活環境を整えることができた。<br>② 今後，対象者へのアンケートを実施し，現状の課題，よかったこと等今後の支援の在り方について検討するとともに，日準協(日本自立準備ホーム協議会)会員とも連携し，利用者の居場所の確保，生活環境の向上に寄与していく。<br>③ 今年度の全再協の事業は，日準協が設立したことにより，効率的な実施の観点から以下④－⑥の事業について協力体制を確保しながら実施する。<br>④ 勉強会は，ブロック勉強会を従前の３ブロック開催から全国８ブロックでの開催を計画し，全再協の理念の実現を図ることとしている。現在，今まで実施していない，東北，四国，九州ブロックを実施するとともに，今後，北海道，関東，近畿，中国，中部ブロックにて，令和５年２月までに毎月実施する計画である。この，勉強会は研修会としても位置付け，人材育成を図ることとし，会員のみならず，会員外の方へも案内し，会員参加に対し要請を行っている。<br>⑤ 講演会は，日準協と全再協のメンバーである特定非営利活動法人食べて語ろう会(広島)と共催で開催することとし，テーマを『犯罪や非行に陥った人たちに寄り添う居場所－自立準備ホーム』(予定)に設定し，開催準備を行っている。<br>⑥ 会員の獲得については，全再協では３団体であったものが，日準協では，５７団体(１０／１現在)になっており，全国で自立準備ホーム間での連携が可能となり，帰住先の調整環境が拡大されている。 |

⑦　官民意見交換会は，今まで，全国組織の立ち上げに関する事前調整，意見集約を行い、全国組織が設立した。また，予算面では，自立準備ホーム制度発足以降委託費の増額については動きがなかったものの，令和４年度予算において委託費の増額が実現した。今後とも少年院出院延期や県域を超えて立ち直りたい青少年が再非行することがなく安心安全に暮らし続ける地域づくりと官民が一体となった仕組みづくりにむけ，法務省等の官と全再協の民が連携し，制度改善に寄与したいと考えている。2022 年度第 1 回の協議は、自立準備ホームの概要をまとめた冊子についての協議、全再協・日準協が実施する勉強会に対する更生保護官署（保護観察所、地方更生保護委員会）の協力依頼についてなどの協議を行った。

⑧　休眠事業とは別の資金により（別助成を受けて），令和４年度には、日準協会員である全国の自立準備ホーム(青少年・女性引き受け事業所)の概要をまとめた冊子を作製予定であり，少年院，刑務所，更生保護関係機関等に配布する予定である。

**③　広報に関する報告**

1.　シンボルマークの使用状況

☐自団体のウェブサイトで表示している　　☑広報制作物に表示している
☑報告書に表示している　☑イベント実施時に表示している　☐その他
→「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：

2.　広報

1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）

①　４．３．２１　朝日新聞『行き場のない出所らに住居を提供　日本自立準備ホーム協議会が発足』
②　４．３．２１　共同通信
③　４．３．２１　ＮＨｋ　７時ニュース
④　４．４．３　　毎日新聞　『これからは変えられる』出所者の立ち直りをどう支えるか
⑤　４．５．７　　中国新聞　　『出所者自立への支援の輪』広島の NPO 法人全国組織設立に尽力
⑥　４．５．１０　朝日新聞オピニオン＆フォーラム『加害者，減らすために　日本自立準備ホーム協議会代表恵理事　髙坂　朝人』
⑦　４．６．２　　RCC ラジオ　日本自立準備ホーム協議会設立への思い
⑧　４．６．１４　ABC テレビ放送　　「壮絶な過去」元暴力団組員が元受刑者を支援　　出所者に仕事と住居を提供
⑨　４．６．２３　めざまし８

⑩　４．７．２８　読売新聞　『出所者を孤立させない』再犯防止へ支援の手…家庭訪問，民間「自立ホーム」の組織化，学生と茶話会

⑪　４．９．１６　中国新聞　『自分と未来は変えられる　非行少年から支援者に　広島出身の髙坂さん』

2.広報制作物等

①　『令和 4 年 3 月 21 日日本自立準備ホーム協議会設立』・・・1000 部　　別添資料

・シンポジウム開催時に参加者等に配布

・勉強会開催時に参加者に配布説明

・会員獲得に際し本会の説明資料として定款等とともに配布

・本会の周知，普及のために説明資料として活用

②　シンポジウムチラシ・・・別添資料　　令和 2 年度，令和 3 年度

3.報告書等

①　自立準備ホームに関するアンケート調査報告書(令和 2 年 11 月)　　別添報告書

4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等）

①　自立準備ホーム 10 周年記念シンポジウム(令和 2 年 10 月)・・・愛知県　　300 人(オンライン 167 人含む)
　　基調講演　　今福章二保護局長

②　日本自立準備ホーム協議会設立記念シンポジウム(令和 4 年 3 月 21 日)・・・東京　　320 人(オンライン 173 人含む)
　　基調講演　　林真琴検事総長

③　日本自立準備ホーム協議会・全国再非行防止ネットワーク協議会・NPO 法人食べて語ろう会共催シンポジウム(令和 5 年 1 月 29 日予定)・・・広島　　基調講演　　竹原慎二元プロボクシング世界チャンピオン

添付資料

活動の写真（画像データは 1 枚 2 MG 以下、3～4 枚程度）

設立総会

基調講演

シンポジウム

九州勉強会